

サミットの成功を願って

7月7日(月)から9日(水)までの3日間、洞爺湖町で『北海道洞爺湖サミット』が開催されます。

北海道内の自治体や経済・観光関係団体などは、訪れる方に快適に滞在していただくことや会議の成功を願ってさまざまな取り組みを予定しています。

今月号では、登別市内のサミットに関する取り組みなどをお知らせします。

訪れる方をおもてなしの心で迎えよう

北海道洞爺湖サミットの開催に伴い、世界各国の政府関係者や報道関係者などが北海道を訪れます。

登別市には、サミット参加国のうち、アメリカ政府代表団が登別温泉を宿泊先にすることが内定しているほか、サミットの警備関係者の宿泊も予定されています。

市は、サミットが円滑に行われ、訪れる関係者が快適に滞在できるように全市的な取り組みを展開したいと考えています。

また、サミットの開催は、国際観光都市登別の魅力を世界にPRできる絶好のチャンスでもありますので、国内外に情報を発信したいと思えます。



わたしたちの暮らす登別市は、豊かな自然や、温泉をはじめとする観光資源に恵まれています。

登別を訪れる方には、「登別に来て良かった。また訪れたい」と思っていただけのように、わたしたち一人一人ができることから取り組み、おもてなしの心で迎えたいと思えます。

わたしたちにできることはなんだろう

北海道洞爺湖サミットは、わたしたちの未来に大きな影響を与える重

要な会議です。

そのため、サミットの成功に向け、道内では自治体、経済・観光関係団体など、官民一体となった『北海道洞爺湖サミット道民会議』や、胆振管内の4市7町と胆振支庁で構成する『北海道洞爺湖サミット胆振地域推進会議』が設立されました。

登別市は、『北海道洞爺湖サミット庁内推進委員会』を立ち上げ、わたしたちにできることは何かを検討してきました。二酸化炭素の削減や省エネ、環境保全、清掃・美化活動などに取り組むことは、サミットの主要テーマの一つである環境問題にかかわることになります。

市内では、市民の皆さんが春・秋のクリーン作戦や花いっぱい運動、キウシト湿原の保全など、活発な市民活動を展開しています。サミットの開催を契機に、その活動の幅やすそ野を広げることが、さらなる市民活動の発展につながるのではないのでしょうか。

また、それらの活動を一過性で終わらせることなく、サミット終了後も引き続き行うことで、活気あふれるきれいなまち登別を実現することにつながります。

今回紹介する取り組みには、これまでも行っているものや、市民の皆さんの協力なしには実現できないものが数多くありますので、皆さんのご協力をお願いします。